

県内初！介護認定調査でタブレット PC を導入

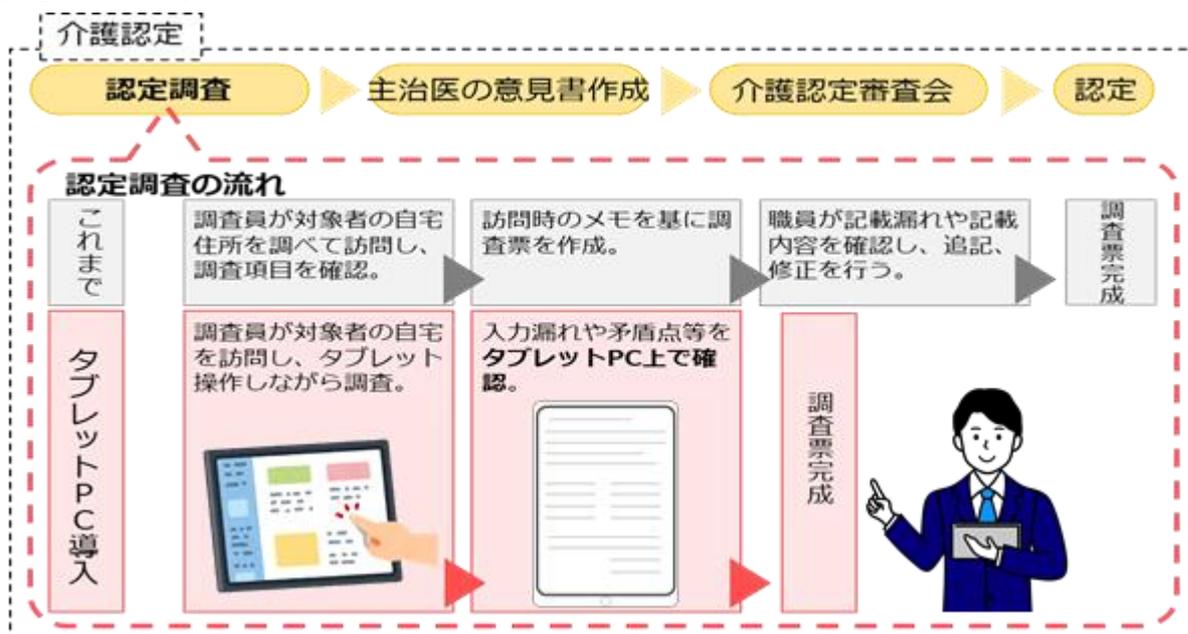
－デジタル化により調査の効率化・平準化を目指します－

これまで介護認定調査では、複雑な調査基準の理解や習得に時間がかかることによる調査員不足や、調査員ごとに記述内容のばらつきが出るのが課題となっていました。

燕市ではこうした課題に対応するため、11月1日から県内で初めて介護認定調査用のタブレット PC を導入します。本取組を通じて、申請から認定結果までにかかる期間の短縮を図るとともに、調査の効率化や調査員スキルの平準化を図ることで、調査員1人あたりの調査件数を増加させ、市民の利便性向上に努めます。

【介護認定調査タブレット PC 導入の概要】

- 1.導入開始日：11月1日(水)
- 2.導入システム：MCWEL 介護保険 訪問調査モバイル V2
- 3.導入メリット：
 - ・選択式入力で文書の自動作成が可能となり、記述のばらつき防止。
 - ・入力漏れや矛盾点等の自動確認が可能。
 - ・調査の平準化により、新人調査員の研修期間が短縮できる。 など
- 3.導入イメージ：



※介護保険サービスを受けるためには、介護認定調査を経て要介護(要支援)認定を受ける必要があります。

「子育てするなら燕市で」



には理由がある。

本件についてのお問い合わせ先
長寿福祉課 介護保険係：込山、外山
電話：0256-77-8177 (直通)